

①	名称	幾春別川総合開発事業	
②	水系	石狩川水系	
③	建設予定地(新桂沢ダム)	右岸:北海道三笠市	
		左岸:北海道三笠市	
	建設予定地(三笠ぼんべつダム)	右岸:北海道三笠市	
		左岸:北海道三笠市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的(新桂沢ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、発電	
	目的(三笠ぼんべつダム)	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成6年度	
		変更1:平成20年度	
⑦	総事業費	約	835 億円
⑧	総貯水容量(新桂沢ダム)	147,300千m3	
	総貯水容量(三笠ぼんべつ)	8,620千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持97.4%、水道用水0.1%、工業用水1.2%、発電1.3%	
⑩	開発水量	(水道用水) 最大8,640m3/日	
		桂沢水道企業団	
		(工業用水) 最大12,840m3/日	
		北海道	
⑪	事業費の内訳	工事費	460 億円
		測量及び設計費	155 億円
		用地及び補償費	159 億円
		上記以外	61 億円
⑫	予算執行状況	357 億円	
⑬	過去5年間に支出された予算	進捗状況	43 %
		平成16年度	20 億円
		平成17年度	16 億円
		平成18年度	17 億円
		平成19年度	43 億円
平成20年度	37 億円		
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階(新桂沢ダム)	転流工工事	
	進捗段階(三笠ぼんべつダム)	転流工工事	
⑯	各段階における進捗率(新桂沢ダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	0 %
		関連工事	2 %
		転流工	100 %
	各段階における進捗率(三笠ぼんべつダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	0 %
		関連工事	40 %
		転流工	100 %
⑰	家屋移転(新桂沢ダム)	移転予定戸数	17 戸
		移転済み戸数	17 戸
		移転終了(完了)年度	H13
	家屋移転(三笠ぼんべつダム)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	夕張シューパロダム建設事業	
②	水系	石狩川水系	
③	建設予定地	右岸：北海道夕張市	
		左岸：北海道夕張市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、発電	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	—	
⑦	総事業費	約	1,470 億円
⑧	総貯水容量	427,000 千m ³	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持48.8%、かんがい用水46.5%、水道用水3.4%、発電1.3%	
⑩	開発水量	(かんがい用水)最大4,331,100m ³ /日	
		農林水産省	
		(水道用水)最大29,600m ³ /日	
		石狩東部広域水道企業団	
⑪	事業費の内訳	工事費	575 億円
		測量及び設計費	89 億円
		用地及び補償費	746 億円
		上記以外	60 億円
⑫	予算執行状況	1,038 億円	
	進捗状況	71 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	(31) 億円
		平成17年度	(31) 億円
		平成18年度	(54) 億円
		平成19年度	(47) 億円
		平成20年度	(57) 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	85 %
		関連工事	50 %
		転流工	100 %
		本体工事	35 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	331 戸
		移転済み戸数	331 戸
		移転終了(完了)年度	H20

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：()書きは国土交通省所管分の予算を示す。

注5)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注6)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注7)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注8)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	沙流川総合開発事業	
②	水系	沙流川水系	
③	建設地(二風谷ダム)(完成)	右岸:北海道沙流郡平取町	
		左岸:北海道沙流郡平取町	
③	建設予定地(平取ダム)	右岸:北海道沙流郡平取町	
		左岸:北海道沙流郡平取町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的(二風谷ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
	目的(平取ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:昭和57年度	
		変更1:平成6年度	
		変更2:平成19年度	
⑦	総事業費	約	1,313 億円
⑧	総貯水容量(二風谷ダム)	31,500 千m ³	
	総貯水容量(平取ダム)	45,800 千m ³	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.4%、水道用水0.2%、発電0.4%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大2,600m ³ /日	
		平取町、日高町	
⑪	事業費の内訳	工事費	830 億円
		測量及び設計費	193 億円
		用地及び補償費	179 億円
		上記以外	111 億円
⑫	予算執行状況	935 億円	
	進捗状況	71 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	12 億円
		平成17年度	12 億円
		平成18年度	12 億円
		平成19年度	43 億円
		平成20年度	41 億円
⑭	完成予定年度	H28	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率(平取ダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	96 %
		関連工事	20 %
⑰	家屋移転(平取ダム)	移転予定戸数	17 戸
		移転済み戸数	17 戸
		移転終了(完了)年度	S61

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものである。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮現時点での進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、以下の方法により算出したものである。

・平成21年9月末時点の進捗率。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

①	名称	サンルダム建設事業	
②	水系	天塩川水系	
③	建設予定地	右岸:北海道上川郡下川町	
		左岸:北海道上川郡下川町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成7年度	
		変更1:平成20年度	
⑦	総事業費	約	528 億円
⑧	総貯水容量	57,200 千m ³	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.2%、水道用水0.5%、発電0.3%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大1,640m ³ /日	
		名寄市、下川町	
⑪	事業費の内訳	工事費	213 億円
		測量及び設計費	115 億円
		用地及び補償費	150 億円
		上記以外	50 億円
⑫	予算執行状況	250 億円	
	進捗状況	47 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	19 億円
		平成17年度	14 億円
		平成18年度	12 億円
		平成19年度	15 億円
		平成20年度	13 億円
⑭	完成予定年度	H25	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	①調査・地元説明	-
		②用地買収	83 %
		③関連工事	93 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	13 戸
		移転済み戸数	13 戸
		移転終了(完了)年度	H11

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮現時点での進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、以下の方法により算出したものである。

・平成21年9月末時点の進捗率。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

① 名称	留萌ダム建設事業	
② 水系	留萌川水系	
③ 建設予定地	右岸:北海道留萌市	
	左岸:北海道留萌市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成2年度	
	変更1:平成12年度	
	変更2:平成17年度	
	変更3:平成18年度	
⑦ 総事業費	約 710 億円	
⑧ 総貯水容量	23,300 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.1%、水道用水0.9%	
⑩ 開発水量	(水道用水)最大4,600m3/日	
	留萌市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	311 億円
	測量及び設計費	129 億円
	用地及び補償費	206 億円
	上記以外	64 億円
⑫ 予算執行状況	656 億円	
⑫ 進捗状況	92 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	49 億円
	平成17年度	77 億円
	平成18年度	43 億円
	平成19年度	48 億円
	平成20年度	40 億円
⑭ 完成予定年度	H21	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	27 戸
	移転済み戸数	27 戸
	移転終了(完了)年度	H6

注1) :「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2) :「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3) :「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4) :「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5) :「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6) :「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7) :「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	津軽ダム建設事業	
② 水系	岩木川水系	
③ 建設予定地	右岸：青森県中津軽郡西目屋村	
	左岸：青森県中津軽郡西目屋村	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、 かんがい用水、水道用水、工業用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初：平成5年度	
	変更1：平成17年度	
	変更2：平成19年度	
⑦ 総事業費	約	1,620 億円
⑧ 総貯水容量	140,900 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持87.2%、 かんがい用水10.9%、水道用水0.8%、工業用水0.5%、 発電0.6%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大30,264m3/s	
	農林水産省	
	(水道用水)最大14,000m3/日	
	弘前市	
	(工業用水)最大10,000m3/日 五所川原市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	730 億円
	測量及び設計費	237 億円
	用地及び補償費	510 億円
	上記以外	143 億円
⑫ 予算執行状況	586 億円	
進捗状況	36 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	44 億円
	平成17年度	39 億円
	平成18年度	41 億円
	平成19年度	42 億円
	平成20年度	46 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	97 %
	関連工事	29 %
	転流工	無し
	本体工事	2 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	178 戸
	移転済み戸数	176 戸
	移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	胆沢ダム建設事業	
② 水系	北上川水系	
③ 建設予定地	右岸:岩手県奥州市	
	左岸:岩手県奥州市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、 かんがい用水、水道用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画) の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成2年度	
	変更1:平成12年度	
⑦ 総事業費	約	2,440 億円
⑧ 総貯水容量	143,000 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持80.0%、 かんがい用水15.8%、水道用水2.2%、発電2.0%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大23.303m3/s	
	農林水産省	
	(水道用水)最大46,800m3/日	
	奥州金ヶ崎行政事務組合	
⑪ 事業費の内訳	工事費	1,361 億円
	測量及び設計費	201 億円
	用地及び補償費	677 億円
	上記以外	201 億円
⑫ 予算執行状況	1,617 億円	
進捗状況	66 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	110 億円
	平成17年度	124 億円
	平成18年度	158 億円
	平成19年度	178 億円
	平成20年度	285 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	75 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	79 戸
	移転済み戸数	79 戸
	移転終了(完了)年度	H10

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	森吉山ダム建設事業	
② 水系	米代川水系	
③ 建設予定地	右岸：秋田県北秋田市	
	左岸：秋田県北秋田市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、発電	
⑥ 基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初：昭和62年度	
	変更1：平成12年度	
⑦ 総事業費	約	1,750 億円
⑧ 総貯水容量	78,100 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持97.4%、かんがい用水0.7%、水道用水0.6%、発電1.3%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大0.145m3/s	
	秋田県	
	(水道用水)最大9,500m3/日	
	北秋田市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	805 億円
	測量及び設計費	205 億円
	用地及び補償費	603 億円
	上記以外	137 億円
⑫ 予算執行状況	1,662 億円	
進捗状況	95 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	123 億円
	平成17年度	138 億円
	平成18年度	142 億円
	平成19年度	116 億円
	平成20年度	60 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	200 戸
	移転済み戸数	200 戸
	移転終了(完了)年度	H7

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	成瀬ダム建設事業	
② 水系	雄物川水系	
③ 建設予定地	右岸：秋田県雄勝郡東成瀬村	
	左岸：秋田県雄勝郡東成瀬村	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、 かんがい用水、水道用水、発電	
⑥ 基本計画（事業実施計画、全体計画） の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初：平成13年度	
⑦ 総事業費	約	1,530 億円
⑧ 総貯水容量		78,700 千m3
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持79.8%、 かんがい用水19.2%、水道用水0.7%、発電0.3%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大27.353m3/s	
	農林水産省	
	(水道用水)最大15,225m3/日	
	湯沢市、横手市、大仙市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	1,074 億円
	測量及び設計費	150 億円
	用地及び補償費	185 億円
	上記以外	122 億円
⑫ 予算執行状況		218 億円
進捗状況		14 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	17 億円
	平成17年度	16 億円
	平成18年度	25 億円
	平成19年度	31 億円
	平成20年度	33 億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 進捗段階	転流工工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	47 %
	関連工事	32 %
	転流工	35 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	11 戸
	移転済み戸数	10 戸
	移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	長井ダム建設事業	
② 水系	最上川水系	
③ 建設予定地	右岸: 山形県長井市	
	左岸: 山形県長井市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 昭和63年度	
	変更1: 平成14年度	
⑦ 総事業費	約	1,600 億円
⑧ 総貯水容量		51,000 千m3
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持78.3%、かんがい用水19.1%、水道用水0.5%、発電2.1%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大11.904m3/s	
	農林水産省、山形県、朝日町土地改良区	
	(水道用水)最大10,000m3/日	
	長井市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	754 億円
	測量及び設計費	240 億円
	用地及び補償費	388 億円
	上記以外	218 億円
⑫ 予算執行状況		1,358 億円
進捗状況		85 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	99 億円
	平成17年度	106 億円
	平成18年度	100 億円
	平成19年度	111 億円
	平成20年度	73 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	鳴瀬川総合開発事業	
②	水系	鳴瀬川水系	
③	建設予定地	右岸：宮城県加美郡加美町	
		左岸：宮城県加美郡加美町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水(予定)、都市用水(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	46 億円	
	進捗状況	－ %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	3 億円
		平成17年度	3 億円
		平成18年度	3 億円
		平成19年度	2 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	鳥海ダム建設事業	
②	水系	子吉川水系	
③	建設予定地	右岸：秋田県由利本荘市	
		左岸：秋田県由利本荘市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	49 億円	
	進捗状況	－ %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
		平成17年度	4 億円
		平成18年度	4 億円
		平成19年度	5 億円
		平成20年度	3 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		移転予定戸数	(未定) 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	湯西川ダム建設事業	
② 水系	利根川水系	
③ 建設予定地	右岸：栃木県日光市	
	左岸：栃木県日光市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、工業用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初：昭和60年度	
	変更1：平成12年度	
	変更2：平成16年度	
⑦ 総事業費	約	1,840 億円
⑧ 総貯水容量	75,000 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持62.2%、かんがい用水2.8%、水道用水31.5%、工業用水3.5%	
⑩ 開発水量	(かんがい用水)最大14.72m3/s	
	栃木県	
	(水道用水)最大175,200m3/日	
	宇都宮市、茨城県、千葉県	
	(工業用水)最大16,400m3/日 千葉県	
⑪ 事業費の内訳	工事費	734 億円
	測量及び設計費	262 億円
	用地及び補償費	664 億円
	上記以外	180 億円
⑫ 予算執行状況	1,060 億円	
進捗状況	58 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	65 億円
	平成17年度	70 億円
	平成18年度	87 億円
	平成19年度	95 億円
	平成20年度	138 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	82 %
	関連工事	54 %
	転流工	100 %
	本体工事	27 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	138 世帯
	移転済み戸数	138 世帯
	移転終了(完了)年度	H21 予定

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	霞ヶ浦導水事業	
②	水系	利根川水系・那珂川水系	
③	建設予定地	利根川:茨城県稲敷市	
		那珂川:茨城県水戸市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	河川湖沼の水質浄化、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	約	1,900 億円
⑧	総貯水容量	- 千m ³	
⑨	アロケーション	河川湖沼の水質浄化・流水の正常な機能の維持55.8%、水道用水37.2%、工業用水7%	
⑩	開発水量(導水量)	(水道用水)7.226m ³ /s	
		茨城県、東京都、千葉市、九十九里地域水道企業団、東総広域水道企業団、印旛都市広域市町村圏事務組合、埼玉県	
		(工業用水)1.974m ³ /s	
		茨城県、千葉県	
⑪	事業費の内訳	工事費	1,433 億円
		測量及び設計費	231 億円
		用地及び補償費	83 億円
		上記以外	153 億円
⑫	予算執行状況	1,453 億円	
⑫	進捗状況	76 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	57 億円
		平成17年度	45 億円
		平成18年度	14 億円
		平成19年度	12 億円
		平成20年度	8 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	(工事中)	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	-
		関連工事	-
		転流工	-
		本體工事	-
		移転予定戸数	7 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	7 戸
		移転終了(完了)年度	H6

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	ハツ場ダム建設事業	
②	水系	利根川水系	
③	建設予定地	右岸：群馬県吾妻郡長野原町	
		左岸：群馬県吾妻郡長野原町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：昭和61年度	
		変更1：平成13年度	
		変更2：平成16年度	
		変更3：平成20年度	
⑦	総事業費	約	4,600 億円
⑧	総貯水容量	107,500 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節、流水の正常な機能の維持54.6%×999/1000、水道用水43.6%×999/1000、工業用水1.8%×999/1000、発電1/1000	
⑩	開発水量	(水道用水)最大1,848,000m3/日	
		群馬県、藤岡市、埼玉県、東京都、千葉県、北千葉広域水道企業団、印旛都市広域市町村圏事務組合、茨城県	
		(工業用水)最大70,800m3/日	
		群馬県、千葉県	
⑪	事業費の内訳	工事費	1,018 億円
		測量及び設計費	723 億円
		用地及び補償費	2,482 億円
		上記以外	377 億円
⑫	予算執行状況	3,210 億円	
	進捗状況	70 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	194 億円
		平成17年度	272 億円
		平成18年度	351 億円
		平成19年度	379 億円
		平成20年度	299 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	転流工工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	83 %
		関連工事	83 %
		転流工	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	470 世帯
		移転済み戸数	366 世帯
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮現時点での進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年9月末時点の進捗率。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

①	名称	荒川上流ダム再開発事業	
②	水系	荒川水系	
③	建設予定地	埼玉県秩父市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	10 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
		平成17年度	0.2 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		移転予定戸数	(未定) 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	吾妻川上流総合開発事業	
②	水系	利根川水系	
③	建設予定地	群馬県吾妻郡六合村、嬭恋村	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	流水の正常な機能の維持、発電(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	25 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1) : 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2) : 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3) : 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4) : 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5) : 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6) : 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7) : 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	利根川上流ダム群再編事業	
②	水系	利根川水系	
③	建設予定地	群馬県利根郡みなかみ町、沼田市、藤岡市 埼玉県児玉郡神川町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	28 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	5 億円
		平成17年度	5 億円
		平成18年度	4 億円
		平成19年度	4 億円
		平成20年度	3 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		移転予定戸数	(未定) 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	利賀ダム建設事業	
②	水系	庄川水系	
③	建設予定地	右岸: 富山県南砺市	
		左岸: 富山県南砺市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初: 平成6年度	
		変更1: 平成20年度	
⑦	総事業費	約	1,150 億円
⑧	総貯水容量	31,100 千m ³	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.34%、工業用水0.66%	
⑩	開発水量	(工業用水)8,640m ³ /日	
		富山県	
⑪	事業費の内訳	工事費	828 億円
		測量及び設計費	135 億円
		用地及び補償費	68 億円
		上記以外	118 億円
⑫	予算執行状況	306 億円	
	進捗状況	27 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	25 億円
		平成17年度	21 億円
		平成18年度	22 億円
		平成19年度	23 億円
		平成20年度	22 億円
⑭	完成予定年度	H34	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	68 %
		関連工事	14 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	3 戸
		移転済み戸数	3 戸
		移転終了(完了)年度	H15

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	三峰川総合開発事業	
②	水系	天竜川水系	
③	建設予定地(戸草ダム)	右岸:長野県伊那市	
		左岸:長野県伊那市	
③	建設地(美和ダム再開発)(既設)	右岸:長野県伊那市	
		左岸:長野県伊那市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的(戸草ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水、発電	
	目的(美和ダム再開発)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成2年度	
⑦	総事業費	約	1,080 億円
⑧	総貯水容量(戸草ダム)	61,000 千m3	
	総貯水容量(美和ダム再開発)	34,300 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持93.4%、工業用水5.7%、発電0.9%	
⑩	開発水量	(工業用水)最大60,480m3/日	
		長野県	
⑪	事業費の内訳	工事費	828 億円
		測量及び設計費	36 億円
		用地及び補償費	100 億円
		上記以外	116 億円
⑫	予算執行状況	525 億円	
	進捗状況	49 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	70 億円
		平成17年度	21 億円
		平成18年度	7 億円
		平成19年度	7 億円
		平成20年度	6 億円
⑭	完成予定年度	H13	
⑮	進捗段階(戸草ダム)	調査・地元説明	
⑯	進捗段階(美和ダム再開発)	既存施設の機能増強	
⑰	各段階における進捗率(戸草ダム)	調査・地元説明	-
		調査・地元説明	-
⑰	各段階における進捗率(美和ダム再開発)	用地買収	-
		関連工事	-
		転流工	-
		本体工事	-
		移転予定戸数	6 戸
⑰	家屋移転(戸草ダム)	移転済み戸数	6 戸
		移転終了(完了)年度	H9
		移転予定戸数	2 戸
⑰	家屋移転(美和ダム再開発)	移転済み戸数	2 戸
		移転終了(完了)年度	H11
		移転予定戸数	2 戸

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑰各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	新丸山ダム建設事業	
②	水系	木曾川水系	
③	建設予定地	右岸：岐阜県加茂郡八百津町	
		左岸：岐阜県可児郡御嵩町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成2年度	
		変更1：平成17年度	
⑦	総事業費	約	1,800 億円
⑧	総貯水容量	146,350 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持98.8%、発電1.2%	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳 （本体工事、付帯工事、補償費等）	工事費	832 億円
		測量及び設計費	70 億円
		用地及び補償費	773 億円
		上記以外	125 億円
⑫	予算執行状況	613 億円	
	進捗状況	34 %	
⑬	過去5年間の支出された予算	平成16年度	31 億円
		平成17年度	31 億円
		平成18年度	31 億円
		平成19年度	31 億円
		平成20年度	23 億円
⑭	完成予定年度	H28	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	86 %
		関連工事	32 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	49 戸
		移転済み戸数	49 戸
		移転終了（完了）年度	H12

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積（実績面積/計画面積）

・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長（実績延長/計画延長）

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	横山ダム再開発事業	
②	水系	木曾川水系	
③	建設地（既設）	右岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町	
		左岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	—	
⑦	総事業費	約	360 億円
⑧	総貯水容量	40,000 千m ³	
⑨	アロケーション	—	
⑩	開発水量	—	
⑪	事業費の内訳	工事費	273 億円
		測量及び設計費	36 億円
		用地及び補償費	13 億円
		上記以外	38 億円
⑫	予算執行状況	302 億円	
	進捗状況	84 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	57 億円
		平成17年度	52 億円
		平成18年度	25 億円
		平成19年度	24 億円
		平成20年度	23 億円
⑭	完成予定年度	H22	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	—
		関連工事	—
		転流工	—
		本体工事	—
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	—

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「—」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	設楽ダム建設事業	
②	水系	豊川水系	
③	建設予定地	右岸:愛知県北設楽郡設楽町	
		左岸:愛知県北設楽郡設楽町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成20年度	
⑦	総事業費	約	2,070 億円
⑧	総貯水容量		9,800 千m3
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持77.7%、かんがい用水11.3%、水道用水11.0%	
⑩	開発水量	(かんがい)0.339m3/s(年平均)	
		水資源機構	
		(水道用水)0.179m3/s	
		愛知県	
⑪	事業費の内訳	工事費	939 億円
		測量及び設計費	260 億円
		用地及び補償費	693 億円
		上記以外	178 億円
⑫	予算執行状況	224 億円	
	進捗状況	11 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	20 億円
		平成17年度	20 億円
		平成18年度	20 億円
		平成19年度	20 億円
		平成20年度	20 億円
⑭	完成予定年度	H32	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	24 %
		関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰	家屋移転	移転予定戸数	122 戸
		移転済み戸数	17 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	上矢作ダム建設事業	
②	水系	矢作川水系	
③	建設予定地	右岸:岐阜県恵那市	
		左岸:岐阜県恵那市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	14 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	平成22年度より中止	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明 -	
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	天竜川ダム再編事業	
②	水系	天竜川水系	
③	建設地（既設）	右岸：愛知県北設楽郡豊根村	
		左岸：静岡県浜松市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	—	
⑦	総事業費	約	790 億円
⑧	総貯水容量	343,000 千m ³	
⑨	アロケーション	—	
⑩	開発水量	—	
		—	
⑪	事業費の内訳 （本体工事、付帯工事、補償費等）	工事費	436 億円
		測量及び設計費	70 億円
		用地及び補償費	213 億円
		上記以外	71 億円
⑫	予算執行状況	35 億円	
	進捗状況	4 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	4 億円
		平成18年度	9 億円
		平成19年度	11 億円
		平成20年度	9 億円
⑭	完成予定年度	H33	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	—
		関連工事	—
		転流工	—
		本体工事	—
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了（完了）年度	—

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「—」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	足羽川ダム建設事業	
②	水系	九頭竜川水系	
③	建設予定地	右岸: 福井県今立郡池田町	
		左岸: 福井県今立郡池田町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	約	1,450 億円
⑧	総貯水容量	28,700 千m ³	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	工事費	967 億円
		測量及び設計費	135 億円
		用地及び補償費	202 億円
		上記以外	146 億円
⑫	予算執行状況	129 億円	
⑫	進捗状況	9 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	6 億円
		平成17年度	6 億円
		平成18年度	8 億円
		平成19年度	11 億円
		平成20年度	12 億円
⑭	完成予定年度	H45	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大戸川ダム建設事業	
② 水系	淀川水系	
③ 建設予定地	右岸:滋賀県大津市	
	左岸:滋賀県大津市	
④ 直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成2年度	
⑦ 総事業費	約	740 億円
⑧ 総貯水容量	33,600 千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持86.6%、水道用水12.8%、発電0.6%	
⑩ ⑪ 開発水量	(水道用水)最大44,200m3/日	
	大阪府、京都府、大津市	
⑪ 事業費の内訳	工事費	348 億円
	測量及び設計費	54 億円
	用地及び補償費	243 億円
	上記以外	94 億円
⑫ ⑬ 予算執行状況	616 億円	
	進捗状況	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	16 億円
	平成17年度	15 億円
	平成18年度	31 億円
	平成19年度	5 億円
	平成20年度	10 億円
⑭ 完成予定年度	H13	
⑮ 進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	91 %
	関連工事	31 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	55 戸
	移転済み戸数	55 戸
	移転終了(完了)年度	H7

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	大滝ダム建設事業	
②	水系	紀の川水系	
③	建設予定地	右岸: 奈良県吉野郡川上村	
		左岸: 奈良県吉野郡川上村	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初: 昭和47年度	
		変更1: 昭和52年度	
		変更2: 昭和62年度	
		変更3: 平成11年度	
		変更4: 平成14年度	
		変更5: 平成17年度	
変更6: 平成20年度			
⑦	総事業費	約	3,640 億円
⑧	総貯水容量	84,000 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持79.2%、水道用水18.82%、工業用水1.48%、発電0.5%	
⑩	開発水量	(水道用水)6.49m3/s以内	
		奈良県、和歌山県、和歌山市、橋本市	
		(工業用水)0.51m3/s以内	
		和歌山市	
⑪	事業費の内訳	工事費	1,711 億円
		測量及び設計費	410 億円
		用地及び補償費	1,167 億円
		上記以外	353 億円
⑫	予算執行状況	3,467 億円	
	進捗状況	95 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	46 億円
		平成17年度	59 億円
		平成18年度	38 億円
		平成19年度	55 億円
		平成20年度	54 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	88 %
		転流工	100 %
		本体工事	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	526 戸
		移転済み戸数	524 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工: 転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事: 堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	天ヶ瀬ダム再開発事業	
②	水系	淀川水系	
③	建設予定地	右岸: 京都府宇治市	
		左岸: 京都府宇治市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、水道用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初: 平成7年度	
⑦	総事業費	約	330 億円
⑧	総貯水容量	26,280 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節89.1%、水道用水8.8%、発電2.1%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大51,840m3/日	
		京都府	
⑪	事業費の内訳	工事費	247 億円
		測量及び設計費	60 億円
		用地及び補償費	3 億円
		上記以外	20 億円
⑫	予算執行状況	70 億円	
	進捗状況	21 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	H13	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	-
		関連工事	-
		転流工	-
		本体工事	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	紀の川大堰建設事業	
②	水系	紀の川水系	
③	建設予定地	右岸:和歌山県和歌山市	
		左岸:和歌山県和歌山市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	治水、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:昭和63年度	
		変更1:平成13年度	
		変更2:平成19年度	
⑦	総事業費	約	1,028 億円
⑧	総貯水容量	2,900 千m3	
⑨	アロケーション	治水・流水の正常な機能の維持62.7%、水道用水37.3%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大10,000m3/日	
		大阪府	
⑪	事業費の内訳	工事費	614 億円
		測量及び設計費	134 億円
		用地及び補償費	205 億円
		上記以外	75 億円
⑫	予算執行状況	970 億円	
	進捗状況	94 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	16 億円
		平成17年度	35 億円
		平成18年度	43 億円
		平成19年度	32 億円
		平成20年度	44 億円
⑭	完成予定年度	H21	
⑮	進捗段階	本体工事	
		調査・地元説明	-
		用地買収	-
		関連工事	-
		転流工	-
		本体工事	平成21年度完成予定
⑯	各段階における進捗率	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑯家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	殿ダム建設事業	
②	水系	千代川水系	
③	建設予定地	右岸：鳥取県鳥取市	
		左岸：鳥取県鳥取市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成5年度	
		変更1：平成17年度	
⑦	総事業費	約	950 億円
⑧	総貯水容量	12,400 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持95.4%、水道用水1.7%、工業用水2.6%、発電0.3%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大20,000m3/日	
		鳥取市	
		(工業用水)最大30,000m3/日	
		鳥取県	
⑪	事業費の内訳	工事費	448 億円
		測量及び設計費	117 億円
		用地及び補償費	300 億円
		上記以外	85 億円
⑫	予算執行状況	593 億円	
	進捗状況	62 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	45 億円
		平成17年度	50 億円
		平成18年度	51 億円
		平成19年度	55 億円
		平成20年度	56 億円
⑭	完成予定年度	H23	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	96 %
		転流工	100 %
		本体工事	40 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	32 戸
		移転済み戸数	32 戸
		移転終了(完了)年度	H14

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものである。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	尾原ダム建設事業	
②	水系	斐伊川水系	
③	建設予定地	右岸：島根県雲南市	
		左岸：島根県雲南市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成5年年度	
		変更1：平成14年度	
⑦	総事業費	約	1,510 億円
⑧	総貯水容量		60,800 千m3
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持95.0%、水道用水5.0%	
⑩	開発水量	(水道用水) 最大38,000m3/日	
		島根県	
⑪	事業費の内訳	工事費	595 億円
		測量及び設計費	188 億円
		用地及び補償費	589 億円
		上記以外	138 億円
⑫	予算執行状況	1,033 億円	
	進捗状況	68 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	50 億円
		平成17年度	89 億円
		平成18年度	89 億円
		平成19年度	74 億円
		平成20年度	108 億円
⑭	完成予定年度	H22	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	100 %
		本体工事	97 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	111 戸
		移転済み戸数	111 戸
		移転終了(完了)年度	H10

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	志津見ダム建設事業	
②	水系	斐伊川水系	
③	建設予定地	右岸：島根県飯石郡飯南町	
		左岸：島根県飯石郡飯南町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：昭和63年度	
		変更1：平成13年度	
⑦	総事業費	約	1,450 億円
⑧	総貯水容量		50,600 千m3
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持96.9%、工業用水2.7%、発電0.4%	
⑩	開発水量	(工業用水)最大10,000m3/日	
		島根県	
⑪	事業費の内訳	工事費	510 億円
		測量及び設計費	193 億円
		用地及び補償費	603 億円
		上記以外	144 億円
⑫	予算執行状況	1,222 億円	
	進捗状況	84 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	60 億円
		平成17年度	65 億円
		平成18年度	83 億円
		平成19年度	57 億円
		平成20年度	47 億円
⑭	完成予定年度	H22	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	100 %
		本体工事	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	97 戸
		移転済み戸数	97 戸
		移転終了(完了)年度	H4

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事：堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	長安口ダム改造事業	
②	水系	那賀川水系	
③	建設地（既設）	右岸：徳島県那賀郡那賀町	
		左岸：徳島県那賀郡那賀町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	－	
⑦	総事業費	約	400 億円
⑧	総貯水容量	54,278 千m3	
⑨	アロケーション	－	
⑩	開発水量	－	
⑪	事業費の内訳	工事費	315 億円
		測量及び設計費	32 億円
		用地及び補償費	24 億円
		上記以外	30 億円
⑫	予算執行状況	33 億円	
⑫	進捗状況	8 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	5 億円
		平成20年度	19 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	－
		用地買収	－
		関連工事	－
		転流工	－
		本体工事	－
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	－

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「－」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	中筋川総合開発事業(横瀬川ダム)	
②	水系	渡川水系	
③	建設予定地	右岸:高知県宿毛市	
		左岸:高知県宿毛市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成14年度	
		変更1:平成20年度	
⑦	総事業費	約	400 億円
⑧	総貯水容量	7,300 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99%、水道用水1%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大800m3/日	
		四万十市	
⑪	事業費の内訳 (本体工事、付帯工事、補償費等)	工事費	197 億円
		測量及び設計費	67 億円
		用地及び補償費	93 億円
		上記以外	43 億円
⑫	予算執行状況	124 億円	
	進捗状況	31 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	9 億円
		平成17年度	10 億円
		平成18年度	15 億円
		平成19年度	11 億円
		平成20年度	12 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	転流工工事	
		調査・地元説明	-
⑯	各段階における進捗率	用地買収	87 %
		関連工事	42 %
		転流工	100 %
		移転予定戸数	9 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	9 戸
		移転終了(完了)年度	H20

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	山鳥坂ダム建設事業	
②	水系	肱川水系	
③	建設予定地	右岸:愛媛県大洲市	
		左岸:愛媛県大洲市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	約	850 億円
⑧	総貯水容量	24,900 千m3	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	工事費	399 億円
		測量及び設計費	188 億円
		用地及び補償費	168 億円
		上記以外	94 億円
⑫	予算執行状況	172 億円	
	進捗状況	20 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	9 億円
		平成17年度	10 億円
		平成18年度	10 億円
		平成19年度	12 億円
		平成20年度	12 億円
⑭	完成予定年度	H35	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	- %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮現時点での進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、以下の方法により算出したものである。

・平成21年9月末時点の進捗率。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

①	名称	鹿野川ダム改造事業	
②	水系	肱川水系	
③	建設地（既設）	右岸：愛媛県大洲市	
		左岸：愛媛県大洲市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	－	
⑦	総事業費	約	420 億円
⑧	総貯水容量		48,200 千m3
⑨	アロケーション	－	
⑩	開発水量	－	
		－	
⑪	事業費の内訳	工事費	314 億円
		測量及び設計費	57 億円
		用地及び補償費	15 億円
		上記以外	34 億円
⑫	予算執行状況		44 億円
	進捗状況		10 %
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	－
		平成17年度	－
		平成18年度	7 億円
		平成19年度	17 億円
		平成20年度	20 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	－
		用地買収	－
		関連工事	－
		転流工	－
		本体工事	－
⑰	家屋移転	移転予定戸数	1 戸
		移転済み戸数	1 戸
		移転終了(完了)年度	H20

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「－」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	大分川ダム建設事業	
②	水系	大分川水系	
③	建設予定地	右岸:大分県大分市	
		左岸:大分県大分市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:昭和63年度	
		変更1:平成12年度	
		変更2:平成20年度	
⑦	総事業費	約	967 億円
⑧	総貯水容量	24,000 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持81.9%、水道用水18.1%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大35,000m3/日	
		大分市	
⑪	事業費の内訳	工事費	482 億円
		測量及び設計費	191 億円
		用地及び補償費	208 億円
		上記以外	87 億円
⑫	予算執行状況	467 億円	
	進捗状況	48 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	38 億円
		平成17年度	29 億円
		平成18年度	31 億円
		平成19年度	31 億円
		平成20年度	29 億円
⑭	完成予定年度	H29	
⑮	進捗段階	転流工工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	48 %
		転流工	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	49 戸
		移転済み戸数	49 戸
		移転終了(完了)年度	H13

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	嘉瀬川ダム建設事業	
②	水系	嘉瀬川水系	
③	建設予定地	右岸：佐賀県佐賀市	
		左岸：佐賀県佐賀市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、工業用水、発電	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成3年度	
		変更1：平成15年度	
		変更2：平成19年度	
⑦	総事業費	約	1,780 億円
⑧	総貯水容量	71,000 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持68.7%、かんがい用水29.4%、水道用水0.6%、工業用水1.0%、発電0.3%	
⑩	開発水量	(かんがい用水)最大8.84m3/s	
		農林水産省	
		(水道用水)最大2,000m3/日	
		佐賀市	
		(工業用水)最大3,000m3/日 王子板紙株式会社	
⑪	事業費の内訳	工事費	608 億円
		測量及び設計費	252 億円
		用地及び補償費	761 億円
		上記以外	159 億円
⑫	予算執行状況	1,463 億円	
	進捗状況	82 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	76 億円
		平成17年度	111 億円
		平成18年度	119 億円
		平成19年度	140 億円
		平成20年度	187 億円
⑭	完成予定年度	H23	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	88 %
		転流工	100 %
		本体工事	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	214 戸
		移転済み戸数	214 戸
		移転終了(完了)年度	H17

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積（実績面積/計画面積）
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長（実績延長/計画延長）
- ・転流工：転流工の延長（実績延長/計画延長）
- ・本体工事：堤体積（実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量）

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	川辺川ダム建設事業	
②	水系	球磨川水系	
③	建設予定地	右岸：熊本県球磨郡相良村	
		左岸：熊本県球磨郡相良村	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：昭和50年度	
		変更1：平成10年度	
⑦	総事業費	約	2,650 億円
⑧	総貯水容量	133,000 千m ³	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持94.8%、かんがい3.9%、発電1.3%	
⑩	開発水量	(かんがい用水)最大5.13m ³ /s	
		農林水産省	
⑪	事業費の内訳	工事費	802 億円
		測量及び設計費	268 億円
		用地及び補償費	1,351 億円
		上記以外	229 億円
⑫	予算執行状況	2,107 億円	
	進捗状況	80 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	55 億円
		平成17年度	36 億円
		平成18年度	33 億円
		平成19年度	33 億円
		平成20年度	34 億円
⑭	完成予定年度	H20	
⑮	進捗段階	生活再建段階	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	96 %
		関連工事	87 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	483 戸
		移転済み戸数	482 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	立野ダム建設事業	
②	水系	白川水系	
③	建設予定地	右岸: 熊本県阿蘇郡南阿蘇村	
		左岸: 熊本県菊池郡大津町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	—	
⑦	総事業費	約	425 億円
⑧	総貯水容量	10,100 千m3	
⑨	アロケーション	—	
⑩	開発水量	—	
⑪	事業費の内訳	工事費	304 億円
		測量及び設計費	21 億円
		用地及び補償費	46 億円
		上記以外	54 億円
⑫	予算執行状況	405 億円	
	進捗状況	95 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	10 億円
		平成17年度	10 億円
		平成18年度	9 億円
		平成19年度	8 億円
		平成20年度	5 億円
⑭	完成予定年度	H32	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	98 %
		関連工事	73 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	12 戸
		移転済み戸数	12 戸
		移転終了(完了)年度	H10

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「—」としている。

・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	本明川ダム建設事業	
②	水系	本明川水系	
③	建設予定地	右岸：長崎県諫早市	
		左岸：長崎県諫早市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	約	(780) 億円
⑧	総貯水容量	約	8,600 千m ³
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(465) 億円
		測量及び設計費	(105) 億円
		用地及び補償費	(121) 億円
		上記以外	(90) 億円
⑫	予算執行状況	64 億円	
	進捗状況		
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	6 億円
		平成17年度	6 億円
		平成18年度	5 億円
		平成19年度	4 億円
		平成20年度	3 億円
⑭	完成予定年度	H32	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	鶴田ダム再開発事業	
②	水系	川内川水系	
③	建設予定地	右岸：鹿児島県薩摩郡さつま町	
		左岸：鹿児島県薩摩郡さつま町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	約	460 億円
⑧	総貯水容量	123,000 千m3	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
		-	
⑪	事業費の内訳	工事費	261 億円
		測量及び設計費	19 億円
		用地及び補償費	150 億円
		上記以外	29 億円
⑫	予算執行状況	27 億円	
	進捗状況	6 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	-
		平成17年度	-
		平成18年度	-
		平成19年度	7 億円
		平成20年度	20 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	-
		関連工事	-
		転流工	-
		本体工事	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	七滝ダム建設事業	
②	水系	緑川水系	
③	建設予定地	右岸: 熊本県上益城郡御船町	
		左岸: 熊本県上益城郡御船町	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水(予定)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	未策定	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	11 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
		平成17年度	0.4 億円
		平成18年度	0.2 億円
		平成19年度	0.2 億円
		平成20年度	0.2 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	城原川ダム建設事業	
②	水系	筑後川水系	
③	建設予定地	右岸: 佐賀県神崎市	
		左岸: 佐賀県神崎市	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持(調査検討中)	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
		-	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	37 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	2 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		移転予定戸数	(未定) 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	筑後川水系ダム群連携事業	
②	水系	筑後川水系	
③	建設予定地	福岡県	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的	流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	-	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	-	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	工事費	(未定)
		測量及び設計費	(未定)
		用地及び補償費	(未定)
		上記以外	(未定)
⑫	予算執行状況	18 億円	
	進捗状況	- %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	3 億円
		平成17年度	3 億円
		平成18年度	3 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	-	
⑮	進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		移転予定戸数	(未定) 戸
⑰	家屋移転	移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	沖縄東部河川総合開発事業	
②	水系	億首川水系、漢那福地川水系	
③	建設予定地(億首ダム)	右岸:沖縄県国頭郡金武町 左岸:沖縄県国頭郡金武町	
	建設地(漢那ダム)(完成)	右岸:沖縄県国頭郡宜野座村 左岸:沖縄県国頭郡宜野座村	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的(億首ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水	
	目的(漢那ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:昭和57年度	
		変更1:平成2年度	
		変更2:平成4年度	
⑦	総事業費	約 850 億円	
⑧	総貯水容量(億首ダム)	8,560 千m3	
	総貯水容量(漢那ダム)	8,200 千m3	
⑨	アロケーション(億首ダム)	洪水調節・流水の正常な機能の維持・かんがい66.6%、水道用水33.4%	
	アロケーション(漢那ダム)	洪水調節・流水の正常な機能の維持・かんがい46.4%、水道用水53.6%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大21,800m3/日	
		沖縄県	
		(かんがい用水)最大0.224m3/s	
		沖縄県	
⑪	事業費の内訳	工事費	459 億円
		測量及び設計費	114 億円
		用地及び補償費	182 億円
		上記以外	96 億円
⑫	予算執行状況	611 億円	
	進捗状況	72 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	28 億円
		平成17年度	22 億円
		平成18年度	12 億円
		平成19年度	14 億円
		平成20年度	17 億円
⑭	完成予定年度	H23	
⑮	進捗段階(億首ダム)	本体工事	
		調査・地元説明	
		用地買収	99 %
		関連工事	57 %
		転流工	90 %
		本体工事	2 %
⑯	各段階における進捗率(億首ダム)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑯家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	沖縄北西部河川総合開発事業	
②	水系	大保川水系、比地川水系	
③	建設予定地(大保ダム)	右岸: 沖縄県国頭郡大宜味村	
		左岸: 沖縄県国頭郡大宜味村	
③	建設予定地(奥間ダム)	右岸: 沖縄県国頭郡国頭村	
		左岸: 沖縄県国頭郡国頭村	
④	直轄・補助ダム区分	直轄	
⑤	目的(大保ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
	目的(奥間ダム)	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初: 平成5年度	
		変更1: 平成16年度	
⑦	総事業費	約	1,370 億円
⑧	総貯水容量(大保ダム)	20,050 千m3	
	総貯水容量(奥間ダム)	3,550 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持30.8%、水道用水69.2%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大111,000m3/日	
		沖縄県	
⑪	事業費の内訳	工事費	903 億円
		測量及び設計費	203 億円
		用地及び補償費	128 億円
		上記以外	136 億円
⑫	予算執行状況	952 億円	
	進捗状況	69 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	75 億円
		平成17年度	101 億円
		平成18年度	110 億円
		平成19年度	71 億円
		平成20年度	79 億円
⑭	完成予定年度	H26	
⑮	進捗段階(大保ダム)	本体工事	
⑮	進捗段階(奥間ダム)	調査・地元説明	
⑯	各段階における進捗率(大保ダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	100 %
		本体工事	100 %
⑯	各段階における進捗率(奥間ダム)	調査・地元説明	
		-	
⑰	家屋移転(大保ダム)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-
⑰	家屋移転(奥間ダム)	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、共同費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。